

早稲田大学日本語教育研究科 オンライン入試説明会 個別セッション
事前受付質問への回答（過去の開催分も含む）

※事務所で回答可能なものを抜粋しております。さらに質問がある場合は、個別セッションにて改めてご相談ください。

※質問内容については、一部表現を修正している場合があります（個人が特定される可能性がある場合や、内容が類似している場合等）。

※全参加者にお伝えするのが望ましいと思われる質問については、個別セッション冒頭で教務主任より回答いたします。なお、入学試験の各選考における選考基準に関する質問や研究計画書等の個人的なフィードバックなどについては入学試験の公平性の観点から回答は行いません。あらかじめご了承ください。

No.	質問	回答
1	卒業要件や修論の進捗状況の報告に関してはどのようなルールやポリシーがありますか？	修士課程においては入学から修論提出まで、各段階に応じた指導体制を構築しています。入学後、最初の学期(1期目)については特定の研究室に所属せず、基礎演習や理論研究科目を幅広く履修し、自身の研究テーマについての考察を深めます。指導教員は1期目の最後に決定します。2期目は研究室に所属しながらさらに応用演習・実践研究などを通じて学修を進めます。他研究室との合同ゼミにて「中間発表」を行い、「2期目研究ノート」を執筆します。3期目は「2期目研究ノート」をもとに指導教員から指導を受けながら、2期目と同様に合同ゼミに参加し「3期目論文」を執筆します。4期目は「3期目論文」をもとに引き続き指導教員から指導を受け、「修士論文」を執筆、「口頭試問」に向けた準備を進めます。詳しくは以下のURLに掲載している「修士課程の学生心得」を参照してください。 https://www.waseda.jp/fire/gsjal/student/thesis/
2	修了後の進路としてどのようなものが挙げられますか？	修了生は教育・研究機関等で日本語教育に携わる方や民間企業に就職する方など幅広い分野で活躍しています。実績についての詳細は「パンフレット」P.23をご参照ください。 https://www.waseda.jp/fire/gsjal/about/pamphlet/
3	日本国外から出願する場合、出願締め切りに間に合うよう出願期間前に書類を郵送してもよいですか。	当研究科への出願はすべてオンラインとなっておりますので、出願時に書類を郵送いただく必要はありません（出願時にオンラインで提出した証明書等は合格後、入学手続き時に原本をご提出いただきます）。
4	科目等履修生として履修できる科目はいつ発表されますか。	前年度の11月中旬頃公開となる入試要項にて履修可能な科目と開講学期を発表しています。
5	日本国籍ではありませんが、出願できますか。	出願資格に国籍や年齢は関係ありません。学歴などの出願資格を満たしていれば、どなたでも出願できます。出願資格の詳細については出願を希望する入学試験の入試要項を確認してください。 但し、科目等履修生については、日本国籍以外の方が「留学」の在留資格を取得することはできません。出願は、自身で適切な在留資格を取得できる方に限ります。なお短期滞在（いわゆる

		る観光ビザ）で在学することはできませんのでご留意ください。
6	研究生には出願できますか。	当学においては「研究生」は、当学の博士後期課程に 6 年間に在籍後、博士論文執筆のために引き続き研究指導を受ける学生と定義しています。一般の方を研究生として受け入れることはできません。なお、学位取得を目的としない方については、「科目等履修生」制度にて一部の科目を履修することが可能です（科目等履修生についても選考が行われます）。科目等履修生は 4 月・9 月の年 2 回、受入を行っています。なお、日本国籍以外の方については、当研究科の科目等履修生では「留学」の在留資格を取得することができません。出願はご自身にて適切な在留資格を取得することができる方に限りますのでご留意ください。
7	大学を卒業してから、既に十年が経過しています。志願者評価書は誰にお願いするのが適切でしょうか。	必ずしも最終出身大学等の指導教員でなくて結構です。現在通学している学校の教員や、職場の上司などご自分の人物評価をしていただくのにふさわしいと判断される方であれば、 <u>どなたでも構いません。</u> また、作成を依頼する方が、当時の所属を退職されていたり、別の組織の所属となっている場合は、現在の所属（所属がなければ無職、等）をご記入いただき、「（志願者自身）さんの元指導教員、元上司」といった書き方で関係性をご説明ください。
8	外国籍のもので、在留資格は永住者です。一般入試に出願の場合、最新の日本語能力試験の証明書を必須として提示する必要がありますか。	日本国籍以外の方においても、出願にあたり、日本語能力試験のスコアの提出は必須ではありません。
9	早稲田大学の寮に住むのは難しいですか（人数の制限とか）。	当学では、直営寮ならびに提携寮など数多くの寮を提供しています。直営寮である「国際学生寮（WISH）」については、大学院生の入寮はできませんが、他の寮については大学院生の入寮も可能です。また提携寮については早大生専用寮と他大生も入居するタイプの寮があります。立地などに拘らなければいずれかの寮には入寮可能できる可能性は高いと思われますが、その時の空き状況や入学時期等にもよるため、入寮の確約はできません。寮の詳細は以下 URL（レジデンスセンター）をご参照ください。 https://www.waseda.jp/inst/rlc/ マンションやアパートなどは「早稲田大学学生住宅センター」にて優良な物件の紹介を受けることも可能です。 https://waseda-housing.com/
10	地方から通学する予定でありますが、科目等履修生でも学割が適応になる学生証が発行されますでしょうか。	科目等履修生の方は通学定期の購入ならびに学割の使用はできません。
11	学位授与証明書、成績証明書、卒業証明書については、紙媒体の証明書が発行されておらず、出身校から自動的に送付されますが、出願書類として受理されるでしょうか。	証明書の発行が電子的にのみ行われる場合は、当研究科メールアドレス宛に直送いただいて構いません。ただし、他の出願書類は必ず自身で作成し、オンラインにて提出してください。

12	中国の大学で2年間学修した後、日本の大学に3年生から編入しました。出願時に提出する成績証明書は日本の大学のものだけでよいでしょうか。	在籍していたすべての大学（短期大学・大学院含む）の成績証明書を提出してください。編入学をされた方は編入学前に在籍していた大学の成績証明書の提出が必要です。
13	日本語能力試験やその他の語学試験のスコアの提出は必須でしょうか。また基準は設けられているのでしょうか。	日本語能力試験やその他の語学試験のスコアの提出は必須とはしていません。また基準なども設けておりません。
14	2025年度の受け入れをもってコースⅡが募集停止になるとありましたが、社会人がコースⅠに入学する場合もコースⅡと同様、休職は1年間で大丈夫でしょうか。	コースⅠについては、2年目も演習・研究指導などが平日の日中に対面で実施されますので、2年目もフルタイムの勤務と両立させることは非常に難しいものと思われます（科目登録の結果、勤務できる日はあるかもしれません）。よって、原則としては2年間の休職が必要と言えます。
15	入学試験において、GPA等の成績の基準はあるのでしょうか。また成績は選考においてどのくらい重要視されているのでしょうか。	入学試験において学業成績の基準等は設けておりません。また特定の要素を重視しているということはなく、提出されたすべての書類を総合的に判断しています。

以上